

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 II Careers Seminar	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	尾崎・長谷川・安和・松岡・今井
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜日・木曜日・金曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師現場経験のある教員から、現場実習や就職活動時に必要な履歴書の作成(自己PR・将来の目標)の仕方を学ぶ。 就職活動に向けて模擬面接を行い、夢の実現のための心構えを持つ。							
【授業を通じての到達目標】							
就職活動に向けて必要なことを学び、行動が計画的スムーズに行えるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad・apple pencil							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	就職活動マニュアル/後期目標シート						
2	履歴書を書こう(学歴~資格)/スタイルブック制作<準備>						
3	履歴書を書こう(自己PRワークシート)/自分だけのスタイルブック制作					小テスト 10点	
4	履歴書を書こう(自己PR)/自分だけのスタイルブック制作						
5	履歴書を書こう(将来の目標ワークシート)/自分だけのスタイルブック制作						
6	ベルリンピック準備						
7	履歴書を書こう(将来の目標)/履歴書完成					中間テスト 20点	
8	模擬面接準備						
9	模擬面接					小テスト 10点	
10	内規便覧 / スタイルブック発表						
11	サロン研究 / 全身写真						
12	就職活動に向けて、受験先の候補を調べる/履歴書作成						
13	保険の仕組み						
14	コンテスト準備 コンセプトシート作成						
15	コンテスト準備 コンセプトシート完成/仕込み					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	運営管理	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師養成施設の講師歴は16年以上です。高等学校第1種免許(公民)取得、更新済みです。会社員(従業員)また個人事業主(経営者)の経験もあります。将来皆さんが美容師として働く際に役立つ専門知識だけでなく、顧客として、従業員として、経営者としての観点から普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。 目的: 経営者、従業員、顧客など様々な視点から基本的な知識を学び、美容の技術を習得する皆さんの力を顧客のために活かせるようにすることを目的としています。 概要: 美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、経営者の考え方や経営が果たす責任・役割や接客サービスについて、また「年金、健康保険、雇用保険、労働者災害補償保険等」の各種保険や資金管理・税金について学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師(社会人)に必要な基本的な知識を身に付ける。 様々な立場からの「物の見方・考え方」ができるように視野を広げる。 世の中の変化と競争に対し、柔軟な対応ができる美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 運営管理							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	本科目の説明 経営とは・経営者とは						
2	理容業・美容業の経営について						小テスト 2点
3	資金管理(収支・損益・コスト・税金)						小テスト 2点
4	人という資源・労働者の権利						小テスト 2点
5	従業員としての視点から・社会人としての責任・社会保険①(公的年金)						小テスト 2点
6	社会保険②(医療保険)						小テスト 2点
7	中間試験 (中間試験終了後)社会保険②(医療保険)						中間試験 20点
8	中間試験の解説 社会保険③(労働保険)						小テスト 2点
9	健康・安全な職場環境の実現・美容の仕事と健康問題						小テスト 2点
10	サービス・デザイン						小テスト 2点
11	サービス・マーケティング						小テスト 2点
12	サービスにおける人の役割・接客の実践						小テスト 2点
13	接客の実践・接客におけるトラブルと対応						
14	定期試験						定期試験 60点
15	定期試験の解説、国家試験について						
【特記事項】 小テストは、Teamsを使用します。 中間試験、定期試験は、問題と解答用紙を配布して実施する予定です。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	衛生管理 I (Hygiene)	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	鈴木久美子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日1~4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容専門学校卒業後、美容サロン(表参道)にて美容師として5年以上勤務。その後ヘアメイクアーティスト(フリーランス)として各撮影(CM・広告・カタログ)やコレクション・歌劇などのヘアメイクなどを担当し活動を広げる。また、ブライダルヘアメイクとしても10年以上従事し、現在も主にbride and groomのヘアメイク、アテンドを担当。 将来皆さんが美容業に就くにあたっていろいろと参考になる知識や現在の状況、情報をお伝えする事ができます。 目的:美容業は不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするところにあり、その業務に就くうえで個人としての衛生を保つだけでなく、業を通して公衆衛生の維持と増進への責務の重要性を知る必要がある。また、感染症の正しい知識と拡大まん延予防対策、消毒法などを学ぶことにより、社会生活においても不安を与えず実践できるということを理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
衛生管理の意義と本質を明らかにする。また、国家試験科目でもあるため、各項目の重要点をまとめたプリントや問題集を用いてより理解を深める。また、問題集等を利用し苦手箇所を反復し克服する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行『衛生管理』教科書、プリント、問題集等							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	講師自己紹介、オリエンテーション、授業科目の概要や進め方、《第1章消毒法総論1節・2節》						
2	フィードバック・《消毒法総論3・4節》						
3	小テスト・フィードバック・《第2章消毒法各論1節1・2》					4点	
4	フィードバック・《消毒法各論1節3・4、2節1》						
5	小テスト・フィードバック・《消毒法各論2節2. 3》					4点	
6	小テスト・フィードバック・中間テスト対策・《消毒法各論2節4・5》					2点	
7	☆ 中間試験・フィードバック・《消毒法各論3節1・2》					20点	
8	フィードバック・《第3章消毒法実習1節1・2》						
9	小テスト・フィードバック・《消毒法実習1節3・4》					4点	
10	フィードバック《消毒法実習2節1~6》						
11	小テスト・ フィードバック・《第3章消毒法実習3節1~3》					4点	
12	フィードバック《第2章消毒法実習3節4~6》						
13	小テスト・フィードバック・《衛生管理の実践例》					2点	
14	衛生管理技術重要ポイント等の確認・期末テスト対策						
15	☆後期定期試験 フィードバック					60点	
【特記事項】毎回必ず名札を付けること。中間・期末試験時は学生証も持参すること。毎回 デバイスと教科書、プリント記入にあたり筆記用具(マーカー含む)を必ず持参すること。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井・尾崎
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師現場経験のある教員及び海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイク技術、知識の幅を広げる。 他国の技術、知識、文化を学び自身の美容師としての幅を広げる。							
【授業を通じての到達目標】							
より広い視野で物事をとらえる国際的感性を学ぶ。他国の技術、知識、文化を学び自身の美容師としての幅を広げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と海外のヘアメイクの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める。</li> <li>海外研修プログラムの概要を理解する。</li> </ul>						
2							
3							
4							
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外研修の内容を理解し、イメージを広げる。</li> <li>昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める。</li> <li>研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する。</li> </ul>						
6							
7							
8							
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる。</li> <li>海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する。</li> <li>日本との違いを学ぶ。</li> </ul>						
10							
11							
12							
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロンドン、フランス・韓国で活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる。</li> <li>国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する。</li> <li>海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する。</li> <li>海外での学びの重要性を理解する。</li> </ul>						
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施</li> <li>●評価 A評価 (90～100点) /B評価 (80～89点) /C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) /F評価 (0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	美容技術理論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	池田 文子
学科・コース	美容師科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜日 1限/2組2限/1組3限/4組4限/3組
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験20年、美容技術理論の教員資格を持った教員が担当。内容を理解しやすいよう、單元ごとにパワーポイントや試験問題のプリントを用いて授業を行います。前期の復習も交えて、美容理論を理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
サロンの実際の例や、現場での事例を交え国家試験はもちろん、サロンで活かせる知識を身につける。国家試験の過去問も解き、国家試験問題に慣れることが出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論Ⅱの教科書・プリント							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	エステティック						
2	エステティック						
3	ネイル技術						
4	ネイル技術					小テスト5点	
5	メイクアップ						
6	メイクアップ					小テスト5点	
7	中間テスト					中間テスト20点	
8	中間テスト解説/日本髪						
9	日本髪						
10	日本髪					小テスト5点	
11	着付けの理論と技術						
12	着付けの理論と技術/ウエディング					小テスト5点	
13	総合復習						
14	定期試験					定期試験60点	
15	定期試験解説						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	美容実習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田・岡田・松永・安田・中尾・岩本・横田 伊東・山崎・中村・前田・TC・山下・鷺尾 佐藤・張・田丸・井坂・萩尾・前川
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	火～金
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>現役でサロンに勤務する美容師、ヘアメイクアーティストが将来実践の現場で活用できる技術、知識を基礎から応用まで習得できる授業を行う。 カット、サロンワーク、カラー、シャンプー、ヘアメイク、メイクなど美容師としての技術全般を習得する。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後即戦力となる人材になる基礎を身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad・apple pencil							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	カット応用技術①						
2	カット応用技術②						
3	カラー応用技術①						
4	カラー応用技術②						
5	カラー応用技術③						
6	シャンプー応用技術①						
7	シャンプー応用技術②					中間テスト 40点	
8	シャンプー応用技術③						
9	シャンプー応用技術④						
10	サロンワーク応用技術①						
11	サロンワーク応用技術②						
12	サロンワーク応用技術③						
13	サロンワーク応用技術④						
14	メイク応用技術						
15	ヘアメイク応用技術					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ (選択授業)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	長谷川・松岡
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日 1限/2限/3限/4限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師経験者から最新の技術・知識を幅広く学び、美容技術向上を目指す。 パーマ、カラー、カット、メンズカット、レディースセットなどの技術を実戦形式で学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
プロとしての心構え、気構え、身構えを学び、今後の美容師としてのマインドを向上し社会人基礎力を身につけることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
iPad、名札、エプロン、クランプ、美容ウィッグ、テールコーム(ピンク)、ダックカール5本以上、延長コード、タオル(何色でも可、授業により枚数は異なる)、カールアイロン、ストレートアイロン、スプレーヤー(トリートメントの入っていないもの)、シザーケース(シザー、カットコーム)							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	レディースカット (基礎)						
2	レディースカット (応用)					小テスト5点	
3	メンズカット (基礎)						
4	メンズカット (応用)					小テスト5点	
5	レディースパーマ						
6	レディースパーマ					小テスト5点	
7	メンズパーマ						
8	メンズパーマ					小テスト5点	
9	レディースカラー (デザインカラー)						
10	レディースカラー (デザインカラー)						
11	メンズカラー (デザインカラー)						
12	メンズカラー (デザインカラー)					中間テスト20点	
13	ヘッドスパ (トリートメント)						
14	ヘアショー準備						
15	ヘアショー準備					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点、計100点満点</li> <li>●評価 A評価 (90~100点) /B評価 (80~89点) /C評価 (70~79点) D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) /F評価 (0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	保健 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鈴木 朋美
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 1・2・3・4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容保健教員資格認定を受けた講師が、美容保健の講義をする。 第1編 人体の構造及び機能に関する講義では、人体の仕組みや構造に興味を持てるように実際に自分達の生活や経験に関連付けた内容で、わかりやすく説明し、学生たちが意欲的に取り組み修得するものとする。							
【授業を通じての到達目標】							
人体の構造及び機能を2年次での再確認や復習に役立つように理解をする。美容師国家試験を意識した小テストや定期試験を行うことで、国家試験に向けての意識を高め、出題傾向を把握し、正解率の精度を高めていく。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教科書・シラバス・コマシラバス・PP資料							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	第1編 人体の構造及び機能 第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学					2点	
2	第1編 第2章 骨格器系					2点	
3	第1編 第3章 筋系					2点	
4	第1編 第4章 神経系					2点	
5	第1編 第5章 感覚器系					2点	
6	第1編 第6章 血液と免疫系					2点	
7	中間試験対策授業						
8	中間試験 <第1編 人体の構造及び機能 第1章～第6章までの範囲>					中間試験 20問 20点満点	
9	中間試験の解答・解説 第1編 第7章 循環器系①					2点	
10	第1編 第7章 循環器系②					2点	
11	第1編 第8章 呼吸器系					2点	
12	第1編 第9章 消化器系					2点	
13	期末試験対策授業①						
14	期末試験対策授業②						
15	定期試験 <第1編 人体の構造及び機能 全範囲>					30問(4択問題) 60点満点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/ F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			